児童園だより

第一九号
平成二八年六月一一日発行

新年度が始まりました

「いってきまーす」と、元気な声が聞こえます。職員が振り返ると、新一年生が自分の背中よりも大きなランドセルを背負い、笑顔で手を振っていました。職員も、負けじと大きな声で見送ります。

今年も、子どもたちの新しい生活が始まりました。児童園からは、高校へ一名進学し、養護学校高等部二名、中学校一名、小学校二名、聾学校小学部一名、保育園三名が、それぞれ入学・入園しました。

また、入学・入園に先立ち、今年は二年振りに卒園式を行いました。大学進学一名、就職一名、共同生活援助訓練施設入所二名。計四名の子どもが児童園を巣立っていきました。

入所した頃は、職員に抱っこを求めて泣いていたとても小さかった子が、スーツを着て大勢の前で立派に挨拶をしている姿に、涙が止まらなくなるほどの感動を覚えました。

新しい場所でも、しっかり前を向いて進んでほしいと願います。

開園記念祭を行いました

「今年も、来てくれた人たちが喜んでくれたらいいな」と、子どもたちも職員も、毎年この日を楽しみにしていた開園記念祭。今年で六六回目を迎えました。

ユニットの枠を越えてチームを作り挑んだ駅伝大会。子どもと職員が団結してバトンをつなぎ、声を張り上げて励まし応援し合っていました。みんな一生懸命頑張ったね。

去年から新たなメニューとしてハンバーガーを追加した九つの模擬店。ボランティアの方々がご協力してくださり、どの模擬店も大好評でした。子どもたちも、各々の役割分担を立派に務め、その姿に大きな成長を感じました。

本年の開園記念祭も、多くの方々にご協力をいただき、大盛況で終える事ができました。ご協力いただいた方々、ご来園いただいた方々に心より感謝申し上げます。